

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート							No.	15-3
PDCA	主要事業名	亀崎地域総合福祉センター運営事業	部課名	福祉部地域福祉課	担当	神原	内線	348
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 1 - 1 単位施策： 地域福祉 全体事業期間： 令和 4 年度 ～ 4 年度 全体事業費等： 8,859 千円 会計 一般会計 歳出科目： 03.01.04.10.01							
	事業概要等	事業概要： 地域住民等の福祉増進を図る亀崎地域総合福祉センターの管理・運営を行う。						
		事業目的： 地域住民等の福祉増進を図ることを目的とする。						
		事業内容： 地域の活動拠点である亀崎地域総合福祉センターの施設管理を行うとともに、各種講座・イベントの開催等を亀崎地区コミュニティ推進協議会に委託する。						
		問題点・課題等： 施設の老朽化に伴い発生する様々な不具合への対応など。						
	予算額	主要事業とする理由						
	8,859 千円	亀崎地域総合福祉センターを適切に管理・運営し、地域住民等の福祉増進を図る必要があるため。						
	財源内訳							
	市費	得られる成果						
	8,859 千円	利用者相互の交流を促進し、地域住民等の福祉増進に資することができる。						
	国費							
	0 千円	目標値や目指すべき状態						
	県費			令和2年度	令和3年度	令和4年度	単位	
		年間延べ利用者数	実績値	13,194	19,338	—	人	
	その他			目標値	80,000	20,000	20,000	人
		実績値						
		目標値						
		実績値						
0 千円			目標値					
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果						
	9,358 千円	利用者相互の交流を促進し、地域住民等の福祉増進に資することができた。						
	成果指標			令和4年度	単位			
	年間延べ利用者数	実績値	19,259	人				
		目標値	20,000	人				
	C 課題の整理	事業の評価・課題	C 新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じた上で、子育て世代と高齢者の交流を目的とした子ども交流会を定期開催するなど、幅広い世代の利用を図った。 また、市内企業の出張講座を開催し、新たな学びの機会を提供するなど、地域福祉の増進に取り組んだ。施設管理においては、利用者に安心・快適に利用いただけるよう浴室や渡り廊下の修繕を行った。					
		A 課題の今後の方向性	改善推進 地域住民の交流・活動拠点として、引き続き幅広い世代に利用していただけるよう積極的に取り組んでいく。本施設は、改築後30年経過しており、施設の老朽化が進んでいるため、設備等の維持管理に努めるとともに、将来的な施設の在り方を検討する必要がある。					
A 課題の今後の方向性	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減	ない	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	余地		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）